様式２

輸出事業計画
※申請者名：関西・食・輸出推進事業協同組合
品目：加工食品（冷凍水産加工品・菓子・茶など）

１．輸出における現状と課題

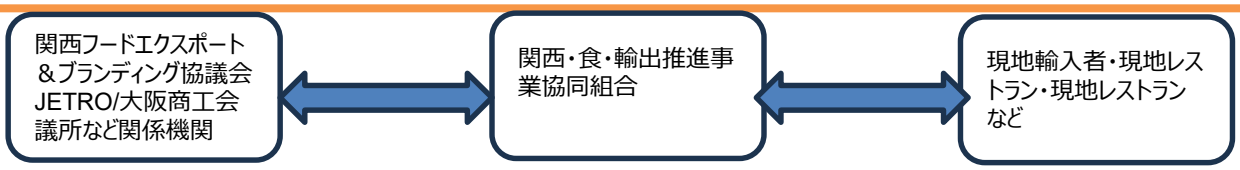
【現状】
・関西・食・輸出推進事業協同組合は、海外市場に「安全・安心」な日本の食を拡販することを目的とし　海外事業に目を向けた輸出経験のない異業種の中小企業が一致団結して組合として共同販売・共同宣伝による売り手（国内中小企業）・買い手（海外バイヤー）の商流のプラットフォームである。
・組合は関西の枠を超えて北海道～九州地域まで広域化しており、組合員の全員参加を促し、組合員の収益確保のためには、既存の販路定着、深堀、多品目化及び新規販路開拓が不可欠である。

【課題】
・輸出向け品質・規格の統一不足
・冷凍・水産品の物流体制の非効率性
・現地市場での認知不足
・単独企業（組合員）では供給量が限定的なので組合全体で物量をカバーする
・特定輸入商社への依存度が高く、販路が限定的である

２．輸出事業計画の取組内容

・輸出向け品質・規格の統一（ハラール認証の取得の提案と取得支援、HACCP認証取得の推奨を含む）
・現地物流パートナーと連携を強化し、冷凍コンテナ単位での出荷体制を確立し（現地側でのコールドチェーン網の継続）
・年に一回以上現地輸入者や現地レストラン・小売店と連携した取り組みを計画・実施
・同業他社で多品目の商品提案で一定ロットを確保するため、各組合員の品目の年間供給量を把握し、組合としてカテゴリー別の取扱品目の整理、品目横断型の商品提案パッケージ化を行う

３．輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



P:現地輸入者・現地販売先などと連携した、プロモーション・展示会・商談会の実施計画を検討
D:計画に基づいて、組合としての参加を実施し、輸出に繋げる
C:輸出状況、商談の進捗状況、商品のFEEDBACKを踏まえ、必要に応じて計画を見直す
A:現地販売先・現地輸入商社からのFEEDBACK等で、商品の改善・開発をし販売チャネルを多層化・拡張する

４．輸出目標額

	現状	目標	目標	目標	目標
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
輸出額（千円）	４１，３２５	４４，２００	４６，５００	４９，３００	５２，７００
輸出先	マレーシア・シンガポール・香港・マカオ・タイ	マレーシア・シンガポール・香港・マカオ・タイ	マレーシア・シンガポール・香港・マカオ・タイ	マレーシア・シンガポール・香港・マカオ・タイ	マレーシア・シンガポール・香港・マカオ・タイ